

これだけは知っておきたい！

障害のある患者さんの来院時に 医療機関に求められること

障害のある（がん）患者さんに対応するにあたって配慮すべきこと、容易にできる対応法を学ぶ研修です。知識だけでなく、当事者や身近な支援者、家族の立場からの具体例も提供します。



2024年2月28日（水） 17:00～19:00

開催方法：オンライン（後日期間限定オンデマンド有）

対象者：全国のがん相談支援センター相談員他、
病院職員の方どなたでも参加可

右のQRコードから
お申し込みください。
申込締切：～2月27日



プログラム

はじめに：障害のある人が受診したときの困難と
医療機関に求められる対応

八巻知香子（国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部患者市民連携推進室 室長）

手話／文字通訳あり

視覚障害の場合

原田敦史（堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター長）
高橋恵子（視覚障害者総合支援センターちば 点字校正員）

聴覚障害の場合

皆川愛（看護師・ギャローデット大学 研究員）
中島明子（がんば聾）

知的障害の場合

打浪文字（立正大学 准教授・一般社団法人スローコミュニケーション 副理事長）
西村幸（社会福祉士・公益財団法人日本訪問看護財団 松山相談支援センター 相談支援専門員）

【シリーズ】医療従事者のためのサポートガイド



サポートガイドの冊子
をご希望の際は下記の
ページよりお申し込み
ください。
[https://wksp.net/ncc/
pamph/](https://wksp.net/ncc/pamph/)

